Vol. 33 No. 9521 Tuesday August 30 1938 TAIRIKU NIPPO 昭和十三年八月三十日（火曜日）第九千五百廿一號

大陸日報

TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
215 & 218 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, - B. C.
本紙定価（前金）壱ケ月七拾五仙 六ケ月四弗弐拾五仙 壱ヶ年八弗弐拾五仙
発行所 大陸日報社
社長 山崎繁
晩香坡市中カデ街二一五番地
電話ダ五五三三

上海の國民黨系青年層
共産黨驅逐の一大運動計畫
蔣介石驚いて極力懷柔に力む

【上海卅日】確報に依れば國民黨内の有志的傾向を有する青年層一派の間に共産黨驅逐の聲が高まり彼等は最近蔣介石に對し其の眼を覺すべしとの警告を發したが容れられず却つて此際過激な動に慣むべしとの圧迫を受けたのに不滿を懷き上海方面の青年層を中心に同志を糾合し共産黨の一大運動を起さんが目下して、而して此運動は在上海蔣介石系の藍衣社の中央の方面に波及したのに驚き之れが現下の微妙なる國共關係に影響して介石の地位に動搖を來すことを恐れ此際斷乎として之を彈壓すべく其の手段として介石の腹心たる二十日上海衛戍司令部に於て緊急會議を開き此運動に關係ありと認めてるが蔣介石が如何に此の青年運動を抑壓しつゝある事は之れが背後にあるものと見做されがある爲め容易に成功には大いに注目される

支那旅客機遭難事件に鑑み
我が中支軍報道部が警告發す

【上海廿日】去る廿四日蘇州附近に於ける中國航空公司旅客機墜落事件に關聯の不時着地點の不明なる事實が報道部では重大なる不法行爲の再發を防止する爲め從來の方針を變更し廿日午後發表した「八月廿四日蘇州附近に於いて生じた事件に關して陸軍の見解」なる聲明書此の種事件に關して陸軍の見解を述べる事は從來なき事なるが事件の重大性に鑑み中支那派遣軍報道部長の名を以て左の如き聲明を發した

「八月廿四日蘇州附近に於いて生じた事件に關して陸軍の見解」

一、本事件は中國航空公司旅客機が我軍の不時着地點の不明なる事實を利用し我が方の軍事行動を妨害せんとの意圖の下に敢行したるものと認む

二、本事件に關し我が方は中國側の要求に應じ現地に調査團を派遣し又中國側の調査團の現地到着を待つて調査を開始する等出來得る限りの便宜を與へたるに拘らず中國側は故意に調査を遷延し且つ我が方の調査團の現地到着を妨害したるが如き態度に出でたるは遺憾とする所なり

三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

二十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

三十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

四十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

五十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

六十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

七十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

八十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十一、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十二、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十三、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十四、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十五、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十六、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十七、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十八、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

九十九、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

百、本事件は我が方の關知せざる間に行はれたるものにして我が方は本事件に關與したる事實なく從つて本事件に關し我が方に責任なきは勿論なり

漢口陷落後は
對ソ關に重點を置く
板垣陸相訪鄉の途次時局談

【盛岡廿日】板垣陸相は廿九日午前十時半上野發列車で歸鄉の途に就いたが途中水澤驛で次の要旨の時局談を語つた

（一）漢口陷落後の時局の問題

なつたが、之を轉機として時政權がどう變るかは今から豫想する事は出來ない、但し時政權が反省して新政權の下に入り防共親日の新支那建設に努力するであらうならそれは支那の政權內の事實であるから我が方の關知する所ではない、戰爭の目的は時政權の如何にかゝはらず目的を貫徹したいと思ふ

（二）支那將來の中央政權の問題

之は二度の滿洲事變即ち先づ北支、中支、滿洲の各地に新政權の誕生發展たる驅介者を作られ、それから次第に中央政府に進展して行かねばならぬが

（三）對支中央機關の問題も支那に如何なる政權が出來るかによつて定まるが、その爲には暫くの考慮を必要とする

（四）前年度豫算の繰越使用の問題

額に達する事を豫想されるが、之は今春來長崎三菱造船所で建造中の南米廻り世界一周船あるせんちな丸及びぶらじる丸（共に一萬三千噸）と三井造船所で建造中のアフリカ航路報國丸、愛國丸、興國丸（何れも一萬五千噸）五隻で船體は代用品と云ふ譯には行かないが、船內の諸設備には總て代用品を使用先づ給水、給湯管等は全部ブラスチックスを手摺、窓枠等にはステンレス・スチールとアルマイトが登場する、又ゴム類はリノリュームにカーペット、皮革製品は絹又は纖維物がとつて交はりその外金屬は成るべく廢して國產木材又はガラス管を使用する筈である

盟邦ドイツへ
日本葉煙草輸出
日獨新貿易協定近し

【東京廿日】防共の契り固い日獨兩國間では目下新な貿易協定取極め交涉を進めてゐるが、之が成立すれば日本からは主として原料品を輸出に向ける筈で之に着目した專賣局では大いに張り切つて來年度はドイツ一國で昨年度實績の約五倍三百萬圓輸出計畫を樹てゐたが

今度の
新協定
が成立したら

更に頑張つて貰つて貰はうと云ふのでその謝禮交涉の爲今回官房調査課長、專賣局參事杉山昌作氏を約四箇月の日程でドイツへ特派する事となつた、ドイツへの我が葉煙草輸出は近年著しく飛躍的增加の一路を辿つてゐるが、從つて獨逸からの必要に基き作戰地上空を飛翔する飛行機は之を軍用機と認むるの已むなり

特別寄稿（東京支社經由）

事變と外交政策

元外務大臣　芳澤謙吉

（四）

フランスはどうであるかと言ふに、フランス政府其の他の官憲が色々解明して居るに拘らず、どう見ても支那に對しては相當物質的援助をやつて居るのではないかと思はれる節がある。今度の事變に際しては最初より國民政府に好意を寄せ、特に經濟的方面から色々な援助を與へて居つたが、近來は相當公然之をやつて居るやうである。尤もフランスに相當な權益があるから止むを得ないが、飛行機なり飛行場の供給の點のみに依つて考へて見ても「フランス」と言はなければならぬ程と思はれる。

▽◇△

ソヴエート・ロシアは、今度の事變に際しては最初より國民政府に好意を寄せ、特に經濟的方面から色々な援助を與へて居つたが、近來は相當公然之をやつて居るやうである。尤もロシア政府に對しては、一面からロシア政府に對すれば「ノー」と言ふに相違ないが、飛行機なり飛行場の供給の點のみに依つて考へて見ても「フランス」と言はなければならぬ程と思はれる。

▽◇△

御承知の通り支那には現在以上兵を動すと云ふ言葉があつて、支那の外交家は、昔から對手國が第三國と戰はせて自分は漁夫の利を收めようと云ふ策略を以つて、何時の事變なり戰爭なりに於ても、支那の外交家政治家は、此策略を以つて居るのである。それであるから今度の事變に當つても國民政府は、當に英米佛ソ又は英國やソヴエートが色々な援助を與へるものと思つて、隱つて英國やソヴエートに於て多少手を緩められて居るには相違ないが、完全に縛られて居るとは云ふことはないと見なければならぬ。又英國も今日までの所、日支事變に手を出すと云ふやうなことはないやうに思はれる。

▽◇△

ロシアも其通り、唯間接は今日以降日本が弱ると云ふことがなければ宜いのである。弱ると云ふことは卽ち日本の經濟が弱ると云ふことである。是さへなければ、歐米の第三國が遠々出掛けて來て日本に衝突くと云ふことは、先づ〳〵ないものと思はれる。尤も經濟的に弱ると云ふことが明かになれば、是は頗る危い形勢になるのであつて、私は斯の如き事態の發現せざることを切に祈つて已まないのである。（完）（七月七日口述）

◇短歌◇

初秋の別れ

小百合

ゆく人に送る人ありひとしきり秋の波止場に客のせはしく

初鰹の深くも今日はたち寄めて饗子のたつ濱に別れしみじみ

いたつきの君を送りて濱に立てば淚なきしきる今日の別れに

ちりの世の塵しきたから顏はまて只頼くゆけ君のみもとに

父やみて君國に歸るとも分かぬ幼なき娘は笑みて送れり

碧やみて辛からましも歸る日はいやされて子と地に躍くたて

身にふれる辛苦は人の世の常ぞ感謝に生きよ其日その時

悔らしき事もなし君ぬ吾ながらゆるしませ君今日の別れに

初秋の波止場に船は出でゆきぬ丘には虫のこゑしきりして

◇俳句◇

水村　八木美津朗

鷄陽花の淡紫かたき雨後の庭

小娘の口笛吹きつ水打てり

水打てり苔の深光はらませつ

風鈴に夕べ旬心萌ぶれり

ひし暑く眠られぬ夜の香の匂ひ

蝉の聲廊下の隅の古毛物

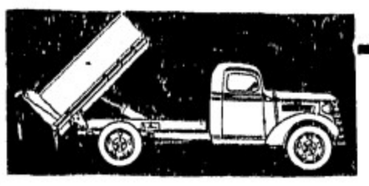
夏空や日ソ風雲たゞならず

夏灯り今日もことなきレジオニュース

ウイルス煙草

一度吸つたら忘れられない
ウイルス・ファインカット
色の良いヴアヂニヤ葉煙は
何ぞも云へない芳しい
口あたりがします
シガレット紙で巻いても
チューブを用ひても
常に御滿足出來ます
ポケットには
十仙及十五仙包を
家庭には經濟的
な半斤入罐を

スリークオーター乃至1噸モデル
1噸半モデル
1噸2噸乃至1噸半モデル
2噸半モデル



CHEVROLET and GMC TRUCKS
ジエネラル・モーターズ製作

詳細は近所の代理店へ御照會下さい

J-2

カステラ　カフイー
晩市バウエル街三九二
住よし

◆美味しいお菓子
武藏屋菓子店
バウエル街三三二

「明朗な生活は確實な保險から」
「田中ホケン」手續簡單　掛金格安　拂出迅速

We write ALL KINDS OF INSURANCE in First Class Companies
Write or phone for information.

病傷・生命
火災・盜難
海上・自動車

TANAKA INSURANCE AGENCY
415 Powell St.
Phone Highland 2571
Vancouver, B. C.

男女衣類一切
バウエル街三二九　電話ダグ一七四七
宮崎商店

視力檢定
眼鏡の調製　亂視矯正
晩市バウエル街三七七
視力檢定士　鈴木初
電話シー一一八五—七九三五

安價にて堅牢を誇る
アトラス　タイヤー
朝日グラーヂ
電話ダグラス五五四五
自宅ツリニチ四八七六エル
エステーグラーヂ
電話ハイ一二九五
自宅ハイ一三三四ワイ
●御利用下さい—キングビーモーターテスト
右のテストにて古車も新車同樣に走ります
●新古自動車取次販賣
●ストレーヂ　月三弗五十仙

Atlas Tire
AND BATTERY
一手販賣

◉郵船案內
N.Y.K.
1404-4th Ave., Seattle, Wn.

（船名）	（入港）	（出帆）
平安丸	八月三十日	九月十日
氷川丸	九月十九日	十月一日
日枝丸	十月三日	十月十五日
平安丸	十月十七日	十月廿九日
氷川丸	十一月七日	十一月十九日
日枝丸	十一月廿一日	十二月三日

○橫濱行三等片道六三弗　神戸行六五弗
◉日本郵船會社シアトル支店
代理店　晩市英店　B. W. Greer & Son Ltd.　Great Northern Railway

安心して使へる
虫よけの王
ホドヂン
百個入一、〇〇
効力＝樟腦の十倍
ナフタリンの四百倍
ホドヂンは陸軍被服廠の御用品を家庭向にした權威ある專賣特許品で効力は勿論樟腦ヤケの絶對に出來ない事と香ひが優雅でナフタリンの如く惡臭に染まない事が虫よけの王と謂はれる理由です
ホドヂンはあなたの御召物の守備兵です
晩市バウエル街三三一
新見商會
電話ダグラス參壹壹貳

高等南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎
晩市バウエル街二五二
新北京
電話シー五七七四　同三五一七

大勉強で御用命に應じます
ボンテアツク、ビユーイツク、ジ・エム・シ・トラックの特約販賣店
晩市アレキサンダー街ゴア街角
日本オート
電話　ダグラス　二八九九

自動車修繕
グツドリツチタイヤー
附屬品一切

◈和洋雜貨食料品
晩香坡市バウエル街三三七
蛭崎商店
電話ダグラス九九一

▲ラヂオ修繕
如何なるラヂオにても丁寧に責任を以て修繕いたします
▲チユーブは無料にて試驗いたします
晩市バウエル街三三三
電話シーモア四一貳一
速水繁雄

晩香坡市バウエル街二五三
カマボコ製造
BC魚店
電話ダグ一七八八　夜間シー三五三八

各種製箱業
御注文に應じ如何樣にも製作致します
アレキサンダー街四〇六

各種製箱業
御注文に應じ大勉強を以て如何樣にも製作致します
晩市バウエル街一二五四
バウエル・ボックス・フアクトリー
Box Factory

お客樣御便宜の爲め
濕氣の絶對に來ない
御誂國なさる
方の家具荷造

新炭販賣
名畑運送社
晩市ゴーア街貳貳貳

新學期と自轉車
シーシーエム及ラレー
を取揃へて大勉强御來店の程を……
バウエル街一五九九
電話ダグ五五五九
ターメー自轉車店
松屋清雄

記錄的快速力
CANADIAN PACIFIC
STEAMSHIPS LIMITED

◇安全
何れも太平洋上の巨船です。最も安全の上を走る樣にとは本社船へ乘つて初めて知る事實です
少し位の時化シケでは、ビクとも致しません。婦人子供の旅行に特に安全です

◇出帆表

エシア	九月三日	
カナダ	九月十七日	
ロシア	十月一日	
ジヤパン	十月十四日	口は、ホノルル寄港

◇便利
三等の待遇は特に注意して居ります
船室は各船共最上の場所を選び清潔です寢臺はスプリング付マトレスです
日本食の用意がありますす各船共日本人が乘組んで居ります
沙市より同賃金で連絡切符發上ます
特に日本人コック二名を乘船致させました、日本人の御客樣には純日本食を差上ます

巨船（ジヤパン號　カナダ號　ロシア號）
排水噸　三九〇〇〇　三三〇〇〇　二五二〇〇
總噸數　二六〇〇〇　二一五〇〇　一六八〇〇
同同同

詳細は下記へ照會願ひます
加奈陀太平洋汽船會社
SETO MORE
Pacific Passenger Agent
CANADIAN PACIFIC (Ocean Traffic)
J. J. FOSTER
Steamship General Passenger Agent
Vancouver, B.C.

新荷御案內
◇ハブ茶　大小　三十五仙　二十仙
◇梅漬　一斤　二十仙
◇八千代麩　大箱　五十仙　小箱　二十仙
◇干蓮根　一斤　四十仙
◇寒天　三本　十仙

漬物の季節が參りました　上等の
酒粕　三斤　廿五仙
胡瓜、茄子等漬物用野菜類
毎日新しい品が入ります
晩市バウエル街四六九
ユニオン魚店
電話ハイ一三三五—三三六

驚異のペン畫に蘇る『軍裝の天使』

大阪の畫家が陸軍へ獻納

（大阪發）福岡縣山にある我國の激動に感激、朝夕夫を助ける婦の愛人、職業婦人等合計千數百名の婦人が、一太郎氏のもと〈新聞一ページ大の陸軍紙に寫生後ともいふべい二人の顏にふと浮んだのは、戰場の俤を偲ばせる白衣の天使』の姿はしい姿だつたなつて送つて來た人があつた、おる岩月士のことである、氏は筆者のその絵に心から感服、自ら筆をとつて遥々戰地を

大阪　の北郊に住む名もなきペン畫家のもと〈送つて激勵した——そのペン畫家といふのは大阪市東住吉區

獻納　不屈の精神に燃ゆる民は、聖戰一周年記念日の

一本　の線もゆるがせに出來ない約束から筆法、手法が精緻され立派な新分野を開拓した新興藝術の一つとして數へられるものである、四十年前、單式鐵砲を行つてゐるうちペン先に引つかゝつた紙の纖維を絹でとるうちに自然に描かれた濃淡の線に興味をもち除拔として研究、數年前までは神戸で印刷の下絵などを請ひ手廣く營業してゐたがせめて國のためになるような仕事を殘して死にたいといふ愛國心の精神から現住所にひつこみ、大作へ遠進したものので、原色畫の如き誰が見ても人間業と思へぬ程である

氏は福岡縣北良郡內野村の出身で、白水養祖は博多中洲の築造者として知られ、亢龍佛大使故栗野慎一郎子らもその一族とのことで、氏の奉公精神もさうした環境によるものである

流石に豪い獨逸
盲目勇士も働く
蒲中將の土産話

（東京發）去る六月六日ポーランドの首都ワルシヤソで開かれた國際盲人聯盟總會にオリンピック馬術大會の觀戰のため日本代表として出席した大日本傷痍軍人會副會長蒲中將は報告をすませて

更に　獨、伊、佛に渡つてこれら各國の傷痍軍保護事業をつぶさに視察し歸朝の上、目下の重大問題である傷痍軍の保護施設について幾多の貴重な材料を蒐集して此の程歸京した、目黒區原町の自宅に四ケ月振りの旅裝を解いた中將は、ザッと一風呂浴びての上世界大戰の參加國がその後いかに傷痍者達をでん坊待遇してゐるかにつき次のやうに語つた

「短い間だつたが出來るだけ多くの施設事業をみてきた、現在歐洲各國の傷痍軍人はみな世界大戰當時の犧牲者がその人達に對する一般國民の尊敬、感謝の熱はいささかも冷めてゐない、これと共に軍人自身も國家に感謝して愉快に働いてゐる、同時に遺族に對する保護が非常によい、それと今一つは戰場に行つて歸つたいはゆる『歷戰者』に對してまで國民は感謝し常に何事によらず優先權が與へられてゐる、國のために犧牲となつたこれらの人々に對しては勳章とか恩給によつてのみ賞められるものではなく適應した職を與へることが重大問題でイタリアの軍用毛織物會社とかゝにかゝげた寫眞の獨逸シーメンス電話會社のごときも見らるゝ通り多數の盲軍人を使用してゐる、盲人の工場出入は一切盲導犬が指導し作業また盲人に適當する設備がどゝのへてあり、その能率は立派なもので熟練女工の最上のものをしのいでゐる、まだこの他にイタリアでは大戰當時生れたばかりで父親に別れた子供たちを集めて國家が育て成長したその娘達が一つところで生々として働いてゐる、フランスでも寡婦や孤兒の保護が實に至れりつくせりだ、要するに國家に手や足を捥げた尊い犧牲者に對しては國家が働けるやうな種々施設して救濟することを同時に法律や命令で定めても一般の民衆、會社、工場でこの人達への敬意と感謝の念を忘れたのではなにもならないと思ふ」

（シーメンス工場で働く全盲軍人と案內役の犬、下は蒲中將）

大陸經營の好伴侶
農民道場の女性
モンペイ姿で鍛錬

（火曜日）

ナ、イ發　前九時二十分
水川發　九時十九分
ロシア發　九月十九日　十月一日
日枝發　九月二十日　十月二十五日
ジャパン　十月四日　十月十四日

▲ナ、イ行　發　前九時二十分　後五時四五
▲水川行　前九時三十・十時十五（日）　後一時・九時四五
▲日枝行　前七時・十時・後二時・三時三十
▲ジャパン　十月廿七日（午後九時）
▲ガルフ島行　毎月末前九時（土）午後一時十五分
▲アラスカ行　一日・十一日、後十一時（美港發）
▲インデアン河行　八月廿七日（午後九時）　前十時　午後二時
▲ユニオン汽船　ブリタニヤ及ウンドアイバー（前九時、後五時）

（火、金）後九時
シービーアール　水曜（後八時）

◉大北列車（シアトル行）　發　後七時一五　着　前九時
◉美府、ナナイモ行列車　發　前十時二五　着　後五時

▲野菜＝新西院　ビーフ　六把
ヤベヂ　五斤
ヤロワ　六把
カリフラワ　五—一〇

フレスト　ターニップ　三把
マシルーム　一斤　三〇…三五
トマト　一斤　〇五

◉今明日の天氣豫報　西南の風、晴れ曇し
（昨日最高七二度、最低五二度）

▲シ　木　千潮　滿潮
三十日　午前三、一〇　午前九、三五
火曜日　午後三、〇〇　午後八、五五
卅一日　午前三、五七　午前十、三九
水曜日　午後三、四五　午後九、二六

皇軍を慕ふ
十二の支那少年
使つてくれと哀願

（蚌埠發）日高線陸分區司令部に勤務する十二、三の支那少年がある、この程部隊が蚌埠附近の平漢に於ける軍事行動後の平漢に於ける軍事支配を開設した作戰中の部隊長をつかまへて

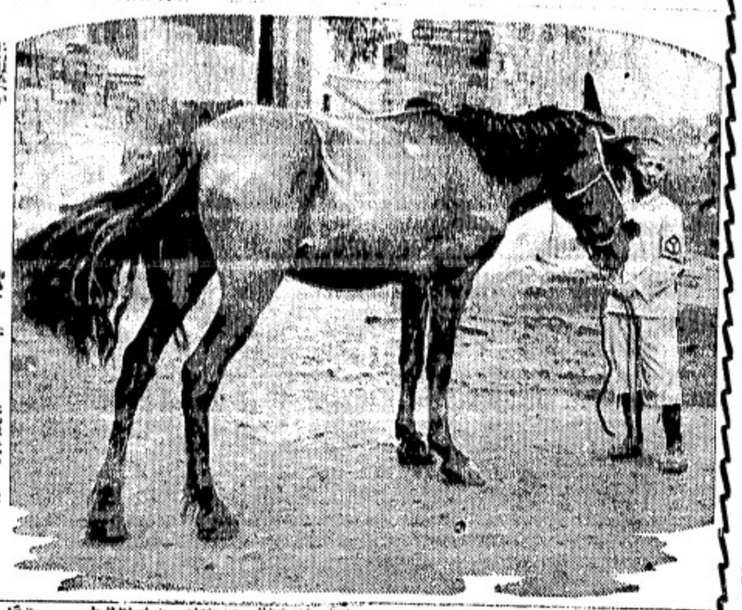
大人！　ニクタボーイにしてもー……」ピタッとひざまづいた少年は『ボクは張鐵山上り幾くさかるつもりで中國兵のをおさんやはかし

遊ん　でゐたから手榴彈をつて、機關銃つてできるなり合中國兵のをおさんたちみん年や戰くてつまんないやー」少年から長大まで郷土を守に燃戰した孫日の本部山西に育つた

早く　攻めてきて敗けるのである、未來の國鎭山の明は學校でも家でもいたるところでさかんに抗日教育をうけた眼があるが日本軍に對については嫌惡そたる中國兵に憧れてゐたものである、太原が陷ちてやがて日本軍が自分たちのゐる平遥に進攻してくるといふことを聞いたゞけは日本軍に渡さないー……」との少年については日本軍がきてもボクたちは安心だ、あの立派な部隊には大きな大砲がいくつもあるし平遥の中國兵は

みんな　逃いんだ

逃げない　日本兵が攻めたとて決して陷落しまいと思つてゐた平遥城は一時間もたゝない



る日本兵をみたいもんだと思つてゐるうち日本軍はやつてきた、中國兵の五分の一にも

開かれたのは
昭和二年、すでに十餘年の歷史をもつてゐるのですが、この長い年月の間、校長加藤完二氏の下に默々と只信ずるところに邁進してゐましたが、滿洲事變以前、ともすればおごりの氣が漲りがちであつた頃に、さうしてこの素朴な道場が人の注意を惹くことが出來たでせうか、けれども滿洲事變以後、大陸經營の必要が叫ばれ、時局の大きな轉回とともに偉大な容貌をもつてこの女子農民道場が社會の表面に登場して來たのです

ひろ　**ぐと**

拓かれた五十町歩の田園の南陽に松林にかこまれた粗末な平家建の長い寄宿舍があります、そこに洗ひざらしの簡單服に色もはげたモンペイを穿いた、若い廿餘名の女性が國策線に沿つて働いてゐるのです、玆ではまづ眞の日本農村女性をつくることが第一の目的で、平和時代における女性の大原則である家庭の主婦たるの素養は勿論のこと、非常時局下の國民として、また大陸經營の好伴侶として一方の指導者たらんとする時代に目覺めた女性たちです

御存じ　のやうに昨今岩手縣の多の農民道場といふやうに、幾はげたモンペイを穿いた、若い廿餘名の女性が國策線に沿つて働いてゐるのです、玆ではまづ拓かれた五十町歩の田園の南陽に松林にかこまれた粗末な平家建の長い寄宿舍があります、そこに洗ひざらしの簡單服に色もはげたモンペイを穿いた、若い廿餘名の女性が國策線に沿つて働いてゐるのです、玆ではまづ眞の日本農村女性をつくることが第一の目的で、平和時代における女性の大原則である家庭の主婦たるの素養は勿論のこと、非常時局下の國民として、また大陸經營の好伴侶として一方の指導者たらんとする時代に目覺めた女性たちです

こゝ　は有名な

蒲　蒙移民義勇軍を養成してゐる女子農民道場で、やがては大陸經營の快男子の好伴侶となり、或は農村に歸つて新興日本の農村經營に、女性として一方の指導者たらんとする時代に目覺めた女性たちです

御存じ　のやうに昨今岩手縣の多の農民道場といふやうに、幾多の農民道場が全國各府縣に設立されてゐるが、友部の女子農民道場こそ全國に魁たる日本農村女性をつくる禁慾をになふものです

内原　の道場と兄妹の關係にある

紺碧　の大空には、眞夏の太陽——ギラ〳〵と眩しいやうな白雲がうかんでゐますが、自動車のタイヤをすこし泥濘に埋めながら雨上りの縣道を、（茨城縣）から東へ二キロ、西茨城郡宍戸町友部の國民高等學校の女子部へといそぎました

流石に豪い獨逸
盲目勇士も働く
蒲中將の土産話

（東京發）去る六月六日ポーランドの首都ワルシヤソで開かれた國際盲人聯盟總會にオリンピック馬術大會の觀戰のため日本代表として出席した大日本傷痍軍人會副會長蒲中將は報告をすませて

更に　獨、伊、佛に渡つてこれら各國の傷痍軍保護事業をつぶさに視察し歸朝の上、目下の重大問題である傷痍軍の保護施設について幾多の貴重な材料を蒐集して此の程歸京した、目黒區原町の自宅に四ケ月振りの旅裝を解いた中將は、ザッと一風呂浴びての上世界大戰の參加國がその後いかに傷痍者達をでん坊待遇してゐるかにつき次のやうに語つた

「短い間だつたが出來るだけ多くの施設事業をみてきた、現在歐洲各國の傷痍軍人はみな世界大戰當時の犧牲者がその人達に對する一般國民の尊敬、感謝の熱はいささかも冷めてゐない、これと共に軍人自身も國家に感謝して愉快に働いてゐる、同時に遺族に對する保護が非常によい、それと今一つは戰場に行つて歸つたいはゆる『歷戰者』に對してまで國民は感謝し常に何事によらず優先權が與へられてゐる、國のために犧牲となつたこれらの人々に對しては勳章とか恩給によつてのみ賞められるものではなく適應した職を與へ

◇—國策線の日本女性—◇

◇學校開始と—

澁谷の特價大賣出し

▲期間　二十七日（土曜）より九月三日（土曜）迄

値段に於て決して　**白人商店に負けない**　自信を持つて居ります

どうか御安心して御用命の程を願ひます

❖御通學の御仕度に……

		正價	特價
△スクールケース	（十二吋）黑、茶	一、〇〇	七九
△同	（十四吋）同	特價	八二
△同	（十四吋）同	一、二五	九五
△同	（十四吋）同	一、四五	一、一九
△同	（十六吋）茶	一、二五	九五
△同	（十六吋）黑、茶	一、六五	一、三五
△ボーイキャップ		特價	
△同	チヤケツ　二四—三四	一、四五	一、一九
△同	ポロシヤツ（白）	六五	四九
△同	オバシヤツ（白、ブルー）	六五	五四
△同	ロングパンツ　格子縞	一、九五ベヤ	一、五九
△同	ロングパンツ　縞物	二、五〇ベヤ	二、一〇
△同	ショートパンツ　縞及ネビー	特價	
△アンダウエヤ（ツヤキ）		四〇	三三
△チムシヤツ		特價	
△ショーツ	縞、無地	三〇ベヤ	二四
△皮ベルト	黑、グレー	二七	一九
△ウールサツクス	（ラステキタツプ）	三七ベヤ	二九
△木綿サツクス	（同）	二九	一九
△木綿ドレス	レーヨンスポン（柄物）	二五—二九ベヤ	一九
	七—一四	一、一五—一、二五	九五—一九
△チヤケツ	（赤、ネビ茶、ブルー）二二—二六	一、五〇	一、一九
△チヤケツ	長袖　八—一四	二五　三〇ベヤ	二、六五
△ブレザー	（半コート）赤、ブルー　六—一四	二五ベヤ　二割引	一九ベヤ
△アンダシヤツ		八九ベヤ	七二
△ブルマー	ホールサイズ	特價	特價
△ショーツ	ベルト附（白、ネビー）	一四ベヤ	一九ベヤ
△アンクルサツクス	白、ピンク、ヤロー（シルク）		
△同			

▲廣告には一々記載致しませんがこの外總ての品を破格の値段で提供致して居りますからどうかひやかし旁御來店下さる樣お願ひ申します

▲婦人の部

△シルクドレス	無地及柄物	特價	一、九八
△ヂヤケツ	白、赤サイズ三一、三四	一、四五	九五
△レーヨンスリツプ	（白、ピンク）	特價	四九
△コーセツト及コーセレツト		一、二五	九五
△シルクブルーマー		特價	二六ベヤ
△スタツキング	（クレープ及シホン）	七五ベヤ	五九

▲男　物

△フエルトハツト		二、九五	二、四九
△スエター	（プッシュウール）	三、九五	二、九八
△ドレスシヤツ	（カラ附）柄物	二、〇〇	一、五九
△アンダウエヤ	（中厚）	七五	五九
△ネクタイ	（新柄）	五〇	三九
△サツクス	（毛ト木綿交り）	三〇ベヤ	二足四五
△仕事用ホバシヤツ	茶、ネビー、グレー	一、二五	九八
△同	ウールサツクス（厚手）	二五ベヤ	一九

▲ベビーの部

△ドレス	（シルククレープ）ピンク、ブルー、ヤロー	特價	一、一〇
△毛系スーツ	（白・赤）	一、八五	一、四五
△ロンパー		四九	三九
△ブランケット	（ピンク・ブルー）三六×五〇	三五	八八
△アンダシヤツ		二八	二二
△ラバーパンツ		一五ベヤ	一二五

▲キレ地及雜の部

△白ネル	二十七吋	一五仙ヤード　八ヤード九五
△シルククレープ	三六吋	白、ピンク、ラスト　五九ヤード　三ヤード一、一九
△毛スカート地	五四吋	一、六五ヤード　一、三五
△レーヨンベッドカバー	（ダブル）	二、二五　一、十五
△ベッドシーツ	（ダブル）	一、三五　九八
△ベッド・マドレス・スプリング一揃		二三、〇〇　七、九五
△マトレス	ダブル	一、三五　六、五〇
△ピロー		一、三五　九九
△ウインドブライインド		八五　六九

◎男子スーツ（特別仕立）　廿二弗七十五仙以上

地方よりの御注文に對しては特に細心の注意を拂ひ御滿足して頂く樣努力致します

澁谷商店

S. Shibuya & Co.　Tel. Doug. 5525　374-8 Powell St.　Vancouver, B. C.

『共進會』を覗く記

各館ごもに押すな〳〵

エロ・グロのヤシ街

昨日蓋を開けた加奈陀太平洋博覧會は、蜂蜜の陳列場で花し、百花撩亂の觀を呈してゐるが、こゝでは陳列して觀せるよりは、何やかや食はしてゐる店が多い、この建物の片隅で官の職人が管を作つてゐるところを觀せてゐる、次のマニュアクチュアーズの建物では、新發明の自働式洗濯機を初め、家庭用具の機械化部がズラリと觀衆場して、若い夫婦客の目を惹いてゐるが、シンガー・ミシンやハドソンス・ベーの陳列場では日本人の店員が頑張つてゐる

◇

ビー・シー州の漁業館陳列場では、魚料理や衣服類を主とし其他各種に亘つて州の製造品が陳列してあるが、場内々を歩き出した當初に伏ると、ビー・シー州にある製造所の數は一千八百で使用人數が四萬三千人に及び、支拂ひ給金四千三百萬弗とある、この建物には外に婦人の手藝品やホーム・メードのケーキ類が各一級の札をブラ下げて飾つてある

◇

次に天幕の中に飛行機とその附屬品や模型飛行機が陳列してあるが、いかさまナポレオンでも乘つたといふ窟い恰好だ、飛行機はビー・シー・エアロ・クラブの出品である、大の手藝品陳列場では種々樣々の下手物が飾つてあるが、その中に例のトーテム・ポールに刻んであるやうな怪物や鮭を配したデザインのトロンコがあつて、その周圍に集つた白人達が騒れも「ベリー・ナイス」と感嘆してゐた、この建物の中には外に自動車、寫眞、カナリアを初め種々の小鳥、鬼等が同居してゐる

◇

香具師街は例によつてエロ・グロを狩り集めた觀せ物や、イラハイ〳〵の當物がズラリと店を並べて客を呼んでゐる

◇

コートで擧行されるが男子單複及び女子單戰優勝戰で參戰希望者は九月二日午後六時までに申込まれたし、尚申込料は△男子單戰一弗△男子複戰各自一弗△女子單戰五十仙尚は又シアトル邦人テニス倶樂部にも既に案内狀を出してあり同地からも來征する事に確定すれば一層緊張した試合が見られやう

時局委員講演

九月四日(日)午後二時テンバランド日本人倶樂部で時局及び情報部委員の講演會がある

對ゴードン戰に
朝日再び快勝
今夕第三回戰

朝日對メリット・ゴードンのインター・リーグ爭覇第二回戰は昨夕バウエル球場に於て行はれた、メリットはこの日至寶ジャワットをマウンドに送つて反撥を期し、朝日は西原を陣頭に進めて連勝を決せんと、劈頭より兩投手が百錬を競ふ白兵戰を展開して觀衆の手に汗を握らしめたが、朝日掉尾の追擊で有終の美を飾かし二戰連勝の凱歌を擧げた

朝日先陣を承はりて前哨戰に得點なく、メリットは走者を二壘に置いてキース二壘打を馬掛け一點を奪はれたが、三回表で白石が敵失を利し本壘を奪還して償却すれば、その裏でメリットは二死後走者を二壘に置いて又しても場雄キースに二壘打を叩かれて一點を擧げられ、五回表で朝日は岩戸一點を稼いで得點は二對二とタイ・アップした

戰は斯くシーソー・ゲームに進展し觀衆の興趣を乘せ七回表に至つて朝日は是永の快打をトツプとして、續く白石のバントの球を投手と捕手が追駈け廻して爭奪戰をやり取逃がす等の餘興があつて、山村のバントが安打となつて決勝の一點を擧げ、西原の右翼飛球が犧牲球となり、おまけの敵失といふ景品が附いて二點を追加し五對二でメリットに再度の土を掴ました

得安失
朝日 〇〇一〇一〇三＝五、六、一
メリ 一〇一〇〇〇〇＝二、五、四

尚今夕五時半より兩軍の第三回戰が行はれる

市内婦人團体相談會

一昨日午後バウエル球場で行はれたエムエス亞對美香港軍のスポーツ村團体カップ爭奪決勝戰は美香軍の大敗で東京・横濱間の電話は全く生きてゐる有樣でしたが、私の生ず第一に

阿部代議士
壇上に獅子吼
反戰思想に三十棒
『事變の眞相』

既報の通り代議士阿部美次夫氏の講演會は昨夜本派佛教會で擧行されたが席上同氏は「日支問題の眞相」と題し熱辯を振ふ事廿に三時間、日支事變の眞相に就き起し日ソ問題及び日本の現狀に論及、今次事變は事實上は事變ではなく戰爭だと喝破し次の如く語つた、即ち

◇日支事變に日本を侵略國と斷じ戰爭を非難する理由は宗教的因及び反戰思想及び持てる國の平和運動等の反相的なものの

◇長期抗戰を唯一の活路とする支那は汪兆銘の言に依ると五ケ年支那が持ち堪へたら日本は經濟的に破滅するであらうと言明した事廿、即ち敗戰の勝利と稱する支那側の觀測である

◇日本の經濟統制の實施に就ても言及、一日の軍費は千五百萬圓乃至二千萬圓の巨額だが大丈夫であり、物價騰貴に對處する經濟警察につき說

我が軍の漢口攻略戰は、揚子江を中心として、南北一齊に行動は開始された。皇軍が進擊準備の爲か、とに角一時軍事行動を中止する場合があつても、支那軍はたゞ防備のみに沒頭してゐるのか、一向反擊して來ないやうだ。時々思ひ出した樣にゲリラ戰の途方もない戰勝ニュースをデッチ上げて宣傳する位が關の山である。尤も日本軍の進擊中には時折り反擊して來る場合もあるらしいが、その度毎に非道い目に逢はされて敗退してゐる。

◇

本日五面掲載の地圖を參照して頂けばよく判るのであるが、九江から進擊を開始した我が精鋭部隊は、鄱陽湖上の海軍部隊と協力、九江から廬山、德安、南昌へと進み、瑞昌を占領した部隊は陽新と德安の西方武寧方面へと進み、武昌の南方粵漢鐵道の何れかを切斷し、南方から武漢三鎭をつく作戰と思はれる。尚揚子江遡航部隊は九江から上流へと進み、兩岸の要衝に迫りつゝある事は勿論である。

◇

揚子江北岸で黃梅に久しく待機してゐた陸軍部隊は、漢口に通ずる街道上の要衝廣濟攻略戰を開始してゐる。一方南京から北進して合肥（廬州）に待機してゐた陸軍の精鋭谷部隊は六安、岑山を相次いで占領、大別山脈の嶮路を冒して漢口へと進軍を開始してゐる。是等の揚子江北岸部隊は何れも漢口の北方、京漢鐵道へ出て來るものと思はれるので、武漢三鎭攻略戰は、東南北の三方より包圍される運命が迫りつゝあるやうだ。

◇

北支方面の山西省南端、黃河對岸の潼關への渡船場風陵渡も本日我が軍の手に歸した。また洛陽へ一番近い距離にある重要黃河渡河地點鐵謝渡も皇軍の手に歸せんとしてゐる。かくて我が軍は、鄭州の西側隴海線上の要衝目がけて敵前渡河は實現され、黃河堤防決潰によつて、一

二ケ月の命をつなぎ得た鄭州は勿論、西安攻略の日も近づかんとしてゐる。若し我が軍が黃河南岸に渡河して鄭州を占領すれば、京漢線に沿つて漢口へ南下し、漢口攻略部隊と歷史的握手をする場合なしとは言へない。

◇

何れにしても、皇軍一度起たば、如何に支那軍が防戰に苦心するとも、絶對に喰止める術はあるまい。漢口を追はれた將政權の行方、我等の關心は擧げて是れに注がれるに至るのである。外國筋でも觀測して居るが如く、漢口が陷落しても日支戰爭は終らないであらうが、その實質に於て大なる變化が來るものと見てよい。

ベルリンで訪日ドイツ代表と一緒になつた訪獨日本青年團

ス村カップは
美香登軍へ

青棟の下にて

より

き

造船改修繕
日發デーゼルエンヂン總代理
スタンレーパーク避船所

御料理
吉野

ピアノ教授
經驗は豊富教授は親切
トロント音樂學校

「米は米屋へ」
▲ハクマイ印　百斤入
▲マル特印　同　五、九五
五、四五
東ヘスティングス街六四九
電話（イランド八八九エル
現金で安く買へる店

御結婚式ベール及髪飾無料御披露用日本振袖
遠近に拘はらず出張いたします
長髪短髪
オイルパーマネントウエーヴ
チエリー美粧院

助産
電話シーモア五八四六アール
キーアー街二三三
松岡久枝
電話イランド二五九八エキス
マダール街二三二五
高橋貴志子

新荷到着案内
身欠鰊　鯖照燒
秋刀魚罐詰　小鯵佃煮
刻スルメ　のり佃煮
かやく飯の素　揚物油
良品廉價の　グロセテリヤ
松宮食料品店
バウエル街二〇五
電話シー三五九七

ウールの
スペシヤル
月曜日より
ヤマト商會
グランビル街四六〇　電話シーモア八八三二
同胞の皆樣に
御滿足行く樣サービスする爲めに
特に
岡村美恵子嬢
を雇入れて居ります

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、アメリカンライン
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等届書、加奈陀政府出生届手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續其他一般代理
晩香坡市バウエル街二三五
中山義一事務所
電話ドグラス三九四四
住宅ハイ二二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御嬢樣の結婚費用意のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老境の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
當會社は世界卅二ケ國及
日本の大都市に支店又は代理店を有します
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二一　電話ダグ二八三
代理
信夫保險事務所
日本人唯一の　保險士　信夫三郎

大勉強
晩香坡市バウエル街二六八
杉山運送舍
舊天野運送
電話ダグラス三〇五九

夏は特に胃腸病に御注意を!
▲トモサン（一ケ月分）一、五〇　▲ノルモザン錠一、〇〇
▲養命酒　二、六五　三、五〇　▲清氣　三、〇〇
△新型各種寫眞機　電話シー四〇八七
△ジャンボープリント
△ワタマン万年筆
△文房具小間物類
文化商會
バウエル街二五〇

新着御案内
御食事の一番すゝむ秋…
御味付には日本一のおいしい
◎ヤマサ醬油（斗樽入）

本週のスペツシヤル
どうぞ御利用下さいませ
◎手ホーキ　一本　九仙
◎トメト　大鐘　九仙
◎ホーサン　半斤　九仙
◎サモン（ピンク）　二瓶　九仙
◎ベビースープ　一個　九仙
◎ミルク　大鐘　九仙
△一番良い品を△一番安く賣る
香村商店
バウエル街二六九　電話ドグラス九二

漢口を目指して我が各線更に大進撃

本日午前九時半『霍山』を完全に占領
江北の一隊は英山へ進む

揚子江北區戰線

揚子江北區戰線　揚子江北岸に沿ひ西進中の佐野、若松、中野、長谷川、縣村、吉賀の各部隊は今三十日拂曉を期して揚子江北岸敵の據點たる新春、武穴に通ずる大路（廣濟の西方約十哩にして武穴の北北西）攻略の火蓋を切つた、地上部隊の進擊に呼應し午前十一時半獨山鎭（六安西北方約十九哩）を占領せり

◇

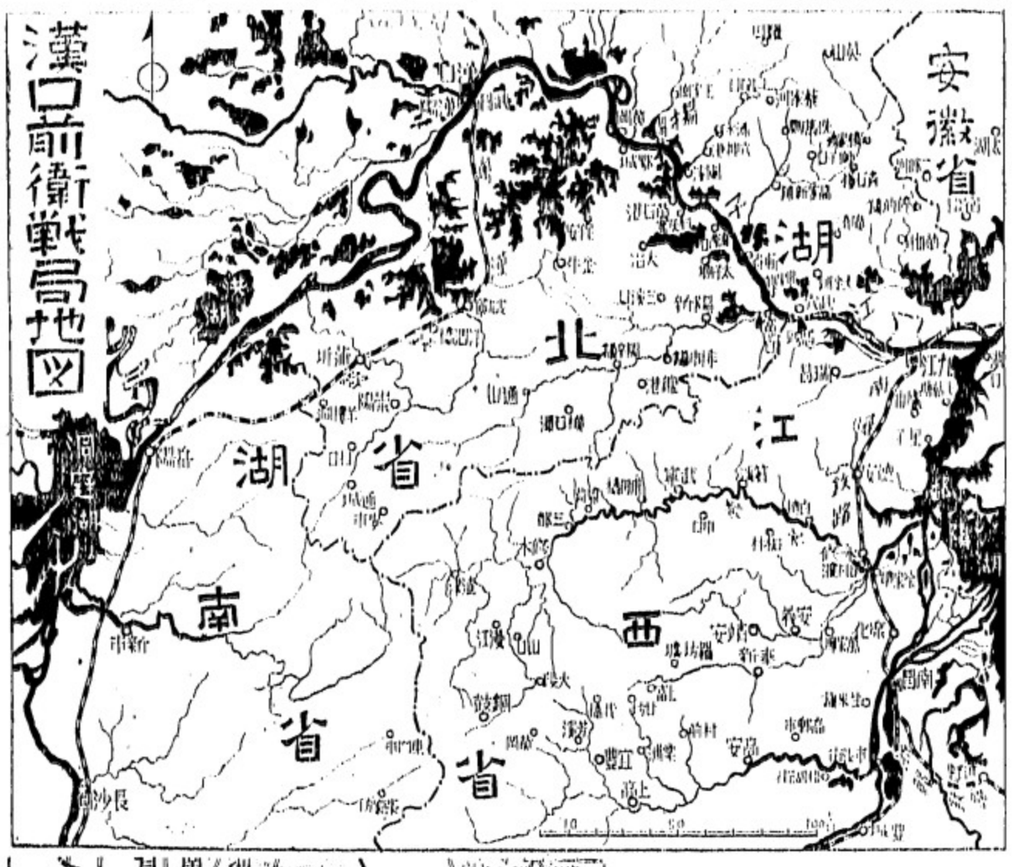
揚子江北岸戰線　揚子江北岸に沿ひ西進中の佐野、若松、中野、長谷川、縣村、吉賀の各部隊は今三十日拂曉を期して揚子江北岸敵の據點たる新春、武穴に通ずる大路（廣濟の西方約十哩にして武穴の北北西）攻略の火蓋を切つた、地上部隊の進擊に呼應し午前十一時半獨山鎭（六安西北方約十九哩）を占領せり

◇

地圖の說明

△上圖――揚子江に沿ふ皇軍進擊區域を示す

△下圖――麻州より六安、霍山へ進む道筋を示す



大別山脈へ突入

霍山を占領した部隊は手分けして北進する敵を追擊の如く兩翼に納めてゐる、又別の部隊は霍山西方を迂回して渡河し西南（英山）方面に進擊する敵後衛部隊に猛擊を浴びせつゝあり

◇

霍山廿日――霍山を占領した部隊は手分けして北進する敵を追擊の如く兩翼に納めてゐる、又別の部隊は霍山西方を迂回して渡河し西南（英山）方面に進擊する敵後衛部隊に猛擊を浴びせつゝあり

◇

廿九日――六安を拔き息も吐かせず西方に進擊しつゝある我が部隊前面の敵は脆くも退却中であるが、是等敵は西進中の佐野、若松、中野、長谷川、縣村、吉賀の各部隊は今三十日拂曉を期して揚子江北岸敵の據點たる新春、武穴に通ずる大路（廣濟の西方約十哩にして武穴の北北西）攻略の火蓋を切つた、地上部隊の進擊に呼應し午前十一時半獨山鎭（六安西北方約十九哩）を占領せり

◇

廣濟の攻略
火蓋を切つた
武穴の陷落も遠からず

廣濟（安徽省最東端）去る廿八日黎明（六安西北方約八哩）附近において陣地を構築し山岳地帶を活躍せる我軍は廿日午前十一時半獨山鎭（六安西北方約十九哩）を占領せり

又右攻擊部隊に呼應し去る廿八日黎明

制服の街

竹田敏彦 (10)

父に似く作(四)

「ね、大切りでございますも……それぢやお金も出ないやうな、卑しい家だと思はれてこらんなさい。平山さんの奥さんだつて、何んな風にお氣が變らないとも、それは限りませんわ……第一私のまへでは、風が悪くてあの奥様にも、賞美が合せませんよ」

貞子夫人は益に惑くんで、

「喜雄……疑ぐつてゐるんぢやないでせうね、お父さまはね、御自分の勝手が悪いことだと、お前の大事の縁談にさへ、この頃の冷淡なのですからね——」

と、益子の方へ水を向けた。

喜雄の縁談といふのは、例の平山夫人の手で進んでゐる、實業界重鎮の二女鳩子といふ娘との話で、浄正前は、平山家の親戚に當り、東海電力を初め多數の會社の重役、大株主として、隠然たる勢力家だつた。その縁組は、實利主義の平山氏も、好もしい縁談ではあつたし、それに何よりも、喜雄自身で、平山夫人の、如才ない態度に誘はれて、既にも二三回も、鳩子と食事などを共にしてゐるのである。自然、この縁談を、問題の渦中に持込むことは、この際夫人をして良人を動するにも、この上ない作戦だつた。

喜雄はちよつと皆々しげに、濃い眉をひそめたが、

「僕には一向わかりませんが、問題は一體何ですか」

形のいゝ口邊に、聰らしい微笑を作つて、母親の方を眺めるやうに見比べた。

例のサクラ商會の出資金ぢやないんですか」

「上」

貞子は顫笑をかめて、傍の同意を求めるやうにいつたが、傍から貞子夫人も、

「お父さまはね、姉さんの運動といふやうなことには、まるで理解がないんだからね」

「おや、でも深山要る高ですか」

「たつた三千圓ぢよ……それもお父さまの茶屋遊びのやうに、消えて無くなるお金ぢやないんです。そのうちに誰が洋頭を取るつたカンヅラでも買つて供へてやつくれ。

愛國行進曲の合唱をはじめた時分には、大陸半有の闇々たる月も傾き、目の下はるかに平原に光つてゐた××湖の湖面も、鈍く銀いろに沈んできて、深沈たる夜氣が荒涼として風凪い新戰場を包んだ。

われはやがて宿舍に充てられた民家へ戻らうと、ひとり床に倒れた身を横たへたが、またしても頭を一杯に占領するのは、昭坊のことだ。眼をつぶればつぶるで、瞼に浮んでくるのは、昭吉の可愛い顔だ。出征の日、××驛頭で、お前の背なかで、小さな手に、日の丸の小旗をうち振り〳〵、バンザイ〳〵と連呼してゐた昭坊の幻だ。

こほろぎが鳴いてゐる。

われは、昭吉は元氣で、前の陣地で戰爭ごつこをしてゐるといゝが、お前からのたよりを思ひ浮べながら、ひとりこほろぎの聲に耳を澄ましてゐたのだが、

「……？」

「そして、お父さんは、その金を持つて、今から村瀬さんへお見舞に行つてくださることですね」

「……」

「何、何だつて……」

喜雄はかういつて、態度を改めると、

「四圓の三千圓は、中四をとつて、僕が頂きます」

しかし喜雄は答へないで、靜かに讀み終つた新聞をおいた。

「時には聞きたしたが、こんなに困つてゐられるんですか……それでは、僕も意見を述べませう……」

喜雄はかういつて、態度を改めると、

「お父様はそれを楯にして、今度のお仕事を止せと仰言るんですよ。それぢや、私達は孤子の未來まで、村瀬家に義理ばかりしなければならないのでせうか」

喜雄は默つて、村瀬家娘の手紙に、擊く眸を吸はれてゐたが、見る〳〵感動に燃えてくる顏線を、すく、その眼の上に走らせた。

「何かこの新聞に出てんですか」

喜雄は、ふと燃に投捨てられた、夕刊を拾ひ上げた。貞子は傍から、誤面を作つて、

「晉に迷惑千萬な話さ……」

喜雄の擧いた紙面を通して、村瀬家娘の手紙は默つて、村瀬家娘の手紙は默つて、村瀬家娘の手紙は默つて

剣聖 千葉周作

坂東太郎作
久保田清春畫

それから井上八郎が出た、塚原卜傳が出た、二人ともけてしまつた。もう田嶋順節が出る上り外に仕方がなくなつた。田中次郎吉なるいふ劍士のあることを小耳に聞いた事がない、それ程に腕の強い人なら、疾うに名が知れてゐなければならないだ、ひよつとしたら、一流の劍士が變名をして來てゐるのではないらうか、何しろ先生の留守に無沙汰に來られては、門人全部が收けてしまつたといはれては、先生に申譯がない、

次「留守……木當か」

範「嘘りは申さぬ」

次「さうか、殘して居るのではないか、先刻道場へ通つた時に、若い劍道立ちの男がゐた、あれは榮次郎ではないのか」

範「イヤ違ふ、榮次郎殿ではやつて來る。

今日こそはと、立合つたが、皆前回の如く殘らず負けてしまつた、三日目、非常な決心でやつたが、また轍めにされてしまつた。この上ばといふのでこの事を申して斷いて、水戸の弘道館へ歸參してやつた。

便が水戸へ着いたのは正月の十一日、丁度劍術の日であります から、弘道館では、お供餅の饗應を拵へてゐる所へ門人の一人が、

○「先生、江戸から御使ひでございます」

周「左樣か」門人が差し出した手紙を開いて讀んで居りましたが、周作先生、眉の間に皺を寄せて、

周「左樣のない奴ぢな」暫くやうにいつて暫度下唇を噛んで考へてゐる。榮次郎が側へ來て。

榮「お父上、江戸から何を言つて參りました」

周「何でも宜い、私が歸らねばならぬこと出來た」

榮「左樣でございますか」

榮次郎にも何にも告げず、齊昭卿に御目通りをして、御暇を願いて、榮次郎を連れて江戸へお玉ケ池の道場へ歸つて參りました。

Chantecler
CIGARETTE PAPERS

自動式に紙が出て來る
複式ブックが僅か五仙

御煙草には
シャンテクラー
シガレット紙を
紙質が軟く 薄く
糊が充分に付いてる

郡々逸

↑ 思つても、ならぬ名前が、吸取紙に、うつすら殘つた、左文字

□—□

朝が來ようと、日が暮れようとたつたひとりが、何んになる

□—□

汗しらず、つけさせない子へまづ父ちやんを、見本に眞白つけてやる

□—□

逢へぬ戻りへ、小石を藏つて淋しい心の、音を聞く

□—□

逢へぬ戻りへ、小石を藏つて淋しい心の、音を聞く ↓

××寄×附×欄××

花田新二郎氏は夫人歸國記念として三浦綱太郎外協會支部へ

◇ソーダスト 取次
薪 ▲ドライファー一等品コード 六弗五十仙
▲ファースラブ一コード四弗五十仙

□ミール薪
△インサイドファー 五弗五十仙 一コード
△エッチング同 三弗五十仙
ローヤルフユーエル 電話ハイランド一八〇七 森
Royal Fuel(Wood & coal)

石塔商 北儒岩、大理石の記念碑銅製
オーレヤン・ビユー都地坂
晩市キングスウエー三〇七(電話カールトン一九五又はカールトン七四七エル)
Kingsway Monumental Works

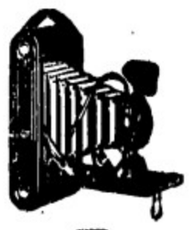
他に類の無い 美味滋養の
「ロバートソン」ブレード
ちやんとスライスになつて居るのもありますあなたの御寄りの店でお求め下さい
キングスウエー街三六六五
ロバートソン・ベーカリーリミテッド
電話ハイランド二一七一

B.C. WOOD & COAL CO.
ビーシー薪炭
電話ハイランド九一五
夜間ハイ四四一三アール

割薪値段
インサイドファー 一コード 七、〇〇
同半 三、七〇五
同二等品 一コード 六、〇〇
同半 三、二〇五
同三等品 一コード 五、〇〇
同半 二、七〇五
ヒーターブロック 一コード 五、〇〇
同半 三、〇〇
ファースラブ 一コード 四、五〇〇
同半 二、五〇〇
御電話下されば早速お屆けしますウツドランド街埠頭

◇ビルダー サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
尚住宅、鷄小屋、バーン等の請負を專門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積價段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッヂ製材會社
瀧本與次郎
ピーシー州ボート(ネーバー)ツランク・クウンライン口 電話(ヤード)ネール七九 同一三五エル 自宅 同一三五エル 六八

日本行汽船切符直接販賣
晩市バウエル街二一六(ライオンルーム二號室)
移民官手續再渡航證明 妻子及使用人呼寄手續
諸願屆代書一般代理業
竹内事務所 竹内 内藤 吉
電話シー一三四 自宅ハイ二九一三エル



付焼像現！
誠心誠意
晩香坡市バウエル街二四九 電話シーモア四八八四
誠心堂
249 Powell Street Vancouver, B.C.
病弱より健康への一筋道
『眞の健康』は臍下丹田の力を養ふこと
◎指導考もいらない、短時間でしかも老人小供にも手輕に行はれ奏効確實の方法こそは新時代の寵兒
「自力健康器」の御使用であります
健康器から發する美妙な音響に心耳を澄ましながら簡單な呼吸法を行ふだけで日一日と健康への道を進みます
中山湾、ダモラバール脫毛劑、スマイル、ポンホリン、シツカロール、トモサン錠、アベチン錠等多量入荷
イーストマン・コダツク フイルム 現像焼付迅速美麗
一弗廿五仙以上

◇魚類 ◇肉類 ◇青物類 ◇カマボコ ◇和洋食料品
茶木魚店
バウエル街二六二
電話ダグラス五五四二

和洋御菓子
晩市バウエル街二三五
橫山菓子店
電話シー六九四一

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
キヤンビー街二三九九
電話フエヤ四〇三一エル

パウエルベーカリー
布田惣一
電話ダグラス五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電マーボール六〇七エル

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二

大工道具
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ドグラス二三七

◎新荷到着 昆布付數ノ子新茶
御馳走の御用はぜひ當店で
バウエル街三五三(電話ツリニテー五七八四 自宅電話ハイ四九七九アール)
スター魚肉店

男女子供靴一切
晩香坡市バウエル街(三七八三七四)
男女著類一切
澁谷商店
電話ダグラス5525

和洋雜貨 食料品
晩香坡市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一三七五

朝早くからお仕度が出來て居ります
バウエル街三五〇
簡易食堂 一富美
電話シー一三五

鍋燒うどん、そば、丼物一切出前いたします
バウエル街二五〇
天狗
電話シー三五三八

惣菜料理 うどん、そば 丼物 天ぷら、出前一切
バウエル街二五八
現代的料亭 つばめ
電話ツリニテー五六一

ちり鍋、すき燒
ゴーア街二二八
玉川
電話ダグ四七九三アール

御料理 日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

會席御料理
バウエル街參參〇
金太郎
電話シー二〇〇三

御料理すし其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニテー三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ダグ二七〇六

ブリキ細工 プラマー仕事
バウエル街四五七
西畑ブリキ工場
電話ハイ四二六

大工道具
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ドグラス二三七

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田惣一
電話ダグラス五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電マーボール六〇七エル

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
キヤンビー街二三九九
電話フエヤ四〇三一エル

和洋御菓子
晩市バウエル街二三五
橫山菓子店
電話シー六九四一

◇魚類 ◇肉類 ◇青物類 ◇カマボコ ◇和洋食料品
茶木魚店
バウエル街二六二
電話ダグラス五五四二

◎新荷到着 昆布付數ノ子新茶
御馳走の御用はぜひ當店で
バウエル街三五三(電話ツリニテー五七八四 自宅電話ハイ四九七九アール)
スター魚肉店

男女子供靴一切
晩香坡市バウエル街(三七八三七四)
男女著類一切
澁谷商店
電話ダグラス5525

和洋雜貨 食料品
晩香坡市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一三七五

荷物運送は凡て最新鋭で好評な
晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

●高等南京料理
コックは新道の腕きゝで料理は皆樣のお口に合ふやう
美味に調理 値段は大々的勉强
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

蚊軍！
前線からの便りによれば
戰地で一ばん惱むのは 敵兵や彈丸でなく
蚊軍や蠅などの襲撃による安眠妨害で 殊に蚊による腫れや痒みに至つては想像以上の苦しみ……ださうです
安住蚊煙香
腫れを引く
妙藥 サロメチール
ミツワ螯蟲液
バウエル街三〇一
大正堂
電話ダグラス五五
ウツドランスフアー 電話ステプストン 二

法衣は戰塵によごれて
數珠の從軍・一年の活躍振り
敵前上陸五回勇士の友『前線僧』

「九江埔田」皇軍のいくさぐるま思へば光榮である、手に握へた數珠は戰塵に汚れて切ざんばらの髪にかけ巡つてゐる從軍僧の活躍振りを物語つてゐる

◇

去る昭和十二年九月以來從軍、最前線を東奔西走し一貫して勇士の感謝の的になつてゐることを聞き同情した、熊本市鹽町出身の杜多舜雄(三二)君は、昨年十二月二日、南京攻略の日、わが從軍僧のうちで最年長の老僧が砲彈の炸裂する